



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月13日

上場会社名 アイビーシー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3920 URL http://www.ibc21.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 裕之  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 關 宏毅 (TEL) 03-5117-2780  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の業績 (平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	914	14.3	110	513.6	112	—	74	—
29年9月期第3四半期	799	12.4	18	△87.6	0	△99.8	△1	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年9月期第3四半期	13.21		12.90					
29年9月期第3四半期	△0.36		—					

(注) 平成29年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	1,768	1,623	91.8
29年9月期	1,660	1,503	90.5

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 1,623百万円 29年9月期 1,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成30年9月期期末配当については、現時点では未確定であります。

3. 平成30年9月期の業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	15.1	216	15.8	216	27.8	129	12.8	23.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年9月期3Q	5,689,600株	29年9月期	5,533,600株
30年9月期3Q	61株	29年9月期	—株
30年9月期3Q	5,614,876株	29年9月期3Q	5,476,758株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策の効果もあり、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復となりましたが、主要国の政策と関連した海外経済の不確実性や中国を始めとする新興国の経済動向等のリスクもあり、先行きは不透明な状況にありました。

情報サービス業界においては、政府が主導する働き方改革や、平成31年に予定されている消費税増税や軽減税率制度への対応、さらにその翌年の東京オリンピック及びパラリンピックの開催といった社会的な要因によるITインフラ投資の加速が見込まれております。ITインフラの運用管理を自動化するソフトウェアへの投資も拡大しており、具体的には、仮想マシンのプロビジョニング自動化、ストレージ/ネットワーク構成管理の自動化、運用プロセスの統合と最適化、障害分析の自動化等に注目が集まっております。

また、グローバル化への対応が、基幹業務システムをクラウド等の新たな環境に移行する契機となっており、中長期的には、オンプレミス（自社運用）とパブリッククラウドとのハイブリッド運用ニーズが高まると見込まれております。当社は、こうした流れの中で、ハイブリッド運用ニーズに対応し「ITコストの最適化」及び「IT運用管理の効率化」に寄与する、自社開発のネットワークシステム性能/情報監視ツール「System Answerシリーズ」の販売・サポート、パートナー企業との連携強化を継続し事業を展開して参りました。また、24時間365日有人監視サービス「SAMS」等の顧客ニーズに合致したサービス提供や、ブロックチェーン技術を利用したIoTデバイス向けセキュリティサービス「kusabi」等の成長分野における取り組みを進めております。

当第3四半期累計期間において、ライセンスの販売については、引き続きパートナー企業との連携強化に努めました。昨年12月に受注しました新製品「System Answer G3」の新規大型案件と「System Answer G2」から「System Answer G3」への切替案件が増加した他、追加大型案件の受注や更新案件の着実な積み上げ等により、好調に推移いたしました。サービスの提供については、ライセンス販売の受注数増加に伴い発生した構築・運用サポート需要への対応等により、堅調に推移いたしました。その結果、ライセンスの販売については売上高638,616千円（前年同期比22.0%増）、サービスの提供については売上高139,170千円（前年同期比0.7%増）となりました。また、その他物販については売上高136,471千円（前年同期比1.3%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高914,258千円（前年同期比14.3%増）、営業利益110,645千円（前年同期比513.6%増）、経常利益112,526千円（前年同期は経常利益283千円）、四半期純利益74,174千円（前年同期は四半期純損失1,996千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、1,768,327千円（前事業年度末は1,660,172千円）となり、108,155千円増加しました。この主な要因は、売掛金が116,464千円減少したものの、現金及び預金が145,091千円増加、関係会社株式が36,897千円増加、長期前払費用が21,056千円増加、工具、器具及び備品が14,240千円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、144,498千円（前事業年度末は157,131千円）となり、12,633千円減少しました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が6,480千円減少、長期借入金が5,550千円減少したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、1,623,829千円（前事業年度末は1,503,040千円）となり、120,788千円増加しました。この要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が74,174千円増加、新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ23,400千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月14日付「平成29年9月期 決算短信」において公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	723,006	868,097
売掛金	663,684	547,220
たな卸資産	4,585	3,246
その他	40,179	36,870
流動資産合計	1,431,455	1,455,434
固定資産		
有形固定資産	46,540	54,531
無形固定資産	14,405	21,559
投資その他の資産	167,770	236,802
固定資産合計	228,716	312,893
資産合計	1,660,172	1,768,327
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,690	13,020
1年内返済予定の長期借入金	13,880	7,400
未払法人税等	2,873	17,429
その他	91,137	80,698
流動負債合計	125,581	118,548
固定負債		
長期借入金	31,500	25,950
その他	50	—
固定負債合計	31,550	25,950
負債合計	157,131	144,498
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	414,730	438,130
資本剰余金	381,230	404,630
利益剰余金	706,249	780,423
自己株式	—	△86
株主資本合計	1,502,209	1,623,097
新株予約権	831	731
純資産合計	1,503,040	1,623,829
負債純資産合計	1,660,172	1,768,327

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	799,895	914,258
売上原価	174,769	197,170
売上総利益	625,125	717,088
販売費及び一般管理費	607,091	606,442
営業利益	18,033	110,645
営業外収益		
受取手数料	1,244	2,106
その他	59	261
営業外収益合計	1,303	2,367
営業外費用		
支払利息	391	202
上場関連費用	18,502	—
株式交付費	78	284
その他	81	—
営業外費用合計	19,054	486
経常利益	283	112,526
特別利益		
新株予約権戻入益	—	99
特別利益合計	—	99
特別損失		
固定資産除却損	0	—
関係会社株式評価損	2,203	972
特別損失合計	2,203	972
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,920	111,653
法人税等	76	37,479
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,996	74,174

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。